

contents

- ・ コロナ禍の地域医療連携
- ・ 地域連携研修会の報告と次回予告

活動

コロナ禍の地域医療連携



山梨県立中央病院
医療連携福祉支援課
部長

筒井 俊晴

皆様初めまして、医療連携福祉支援課の筒井俊晴と申します。普段は呼吸器内科として勤務しておりますが、2020年4月より患者支援センターのスタッフと共に医療連携の仕事を担当しております。

当院は平成28年に地域医療支援病院の承認を得て、皆様のご理解とご協力のもと地域医療機関との連携を一層深めるべく邁進して参りました。しかしコロナ禍でこれまで行ってきた活動や企画を休止し、しばらくの間自粛を余儀なくされました。ようやく昨年9月から地域医療支援病院運営委員会の開催や地域連携研修会を再開することができました。地域連携研修会はZoomを用いたWeb配信形式で開催し、第1回目ではコロナ診療における当院の取り組みについて紹介させていただきました。不慣れな進行でご迷惑をおかけいたしました。多くの皆様のご参加を賜り、好評であったと考えております。また密になることを避ける目的で、退院支援のための院外多職種合同カンファレンスもZoomを用いて行うようになりました。わざわざ病院までお越しいただくことなく直接対話ができるので、従来よりも有益性の高い方法ではないかと考えております。一方で連携登録医の先生方へのご挨拶が電話訪問となってしまったことについては大変心苦しく感じております。今後検討の必要があるものと考えておりますので、ご意見やご提案がございましたら頂戴できればと思います。

この1年間で新たな局面に立たされましたが、コロナ診療だけを見ても医療連携の重要性を痛感させられます。山梨県の医療水準の向上を目指し、患者さんに安心して医療を受けていただく環境を作っていくために、引き続きご指導、ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。



地方独立行政法人山梨県立病院機構

山梨県立中央病院

YAMANASHI PREFECTURAL CENTRAL HOSPITAL

患者支援センター

〒400-8506 山梨県甲府市富士見1-1-1

TEL.(直通)055-253-9000/FAX.(直通)055-251-7733

コロナ禍での婦人科医療

Gynecological care
in Corona (COVID-19) related confusion



婦人科
部長

坂本 育子

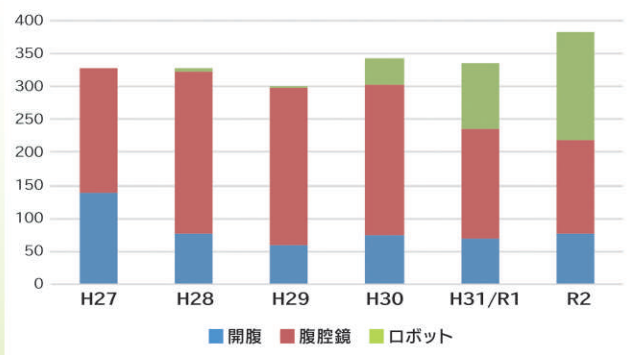
コロナ禍の今婦人科手術をできる施設は県内で限られています。その中でも当科は受け入れや手術制限を行うことなく山梨県の最後の砦として、婦人科医療を安定して提供できるよう日々努めて参りました。今回は当科で行なっている取り組みについてご紹介いたします。



低侵襲手術 (腹腔鏡下手術、ロボット支援下手術)

当科では2014年から腹腔鏡下手術を、2016年からロボット支援下手術を導入しております。2021年現在では一部の悪性疾患を除いて大部分は低侵襲手術で行なっており、術後在院日数も2～3日と短く早期退院、早期社会復帰を希望されるコロナ禍の女性のニーズにあった治療を提供しています。

また2019年にはロボット支援下子宮悪性腫瘍手術(子宮体癌)が全国2位の件数となるだけでなく、手術室スタッフと協力し一日に3～4件ロボット手術が可能な本邦唯一の施設であり、全国から医療従事者の見学希望をいただいております。2020年には骨盤臓器脱におけるロボット支援下仙骨腔固定術の保険収載を受け当院でも導入しました。仙骨腔固定術は現在骨盤臓器脱における再発率の少ない手術として世界中で実施されています。この手術をロボットで行うと腹腔鏡下手術よりもより繊細な手術が可能であるため出血量や手術時間の短縮が見込めます。



婦人科手術の推移
(経膣手術は除く)



当院1日のロボット手術

婦人科悪性腫瘍への取り組み

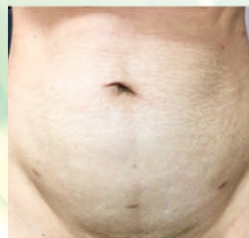
コロナ禍でも悪性疾患が減ることはありません。最近では近県で治療を行っていた方もコロナの影響で県内での治療に変更される場合が増えてきております。当科では婦人科腫瘍に対して2014年からゲノム解析センターの協力のもと遺伝子解析研究を行なってきております。2016年には国内初となるPARP阻害剤の臨床使用を開始しました。2021年の現在では2種類のPARP阻害剤が卵巣癌に保険収載されています。保険収載以前からの知識や経験を生かしさらに多くの卵巣癌患者さんに利益をもたらすよう努めて参ります。

また2018年に高頻度マイクロサテライト不安定性(MSI-high)固形癌に免疫チェックポイント阻害剤(ペムブロリズマブ)が保険収載されましたが、このMSI-highは子宮体癌に最も多いとされています。これを踏まえ当科では積極的にMSI検査やそれに伴う治療を導入しています。

開腹



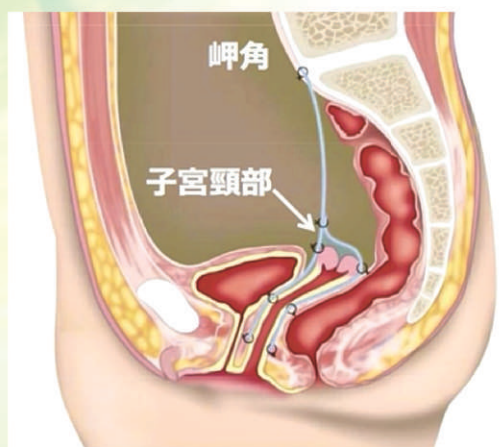
腹腔鏡下



ロボット



手術創の比較



仙骨脛固定術

私たち婦人科医は常に山梨の女性に最も良い医療を他県に行かずに提供できる体制を心がけております。貴院からのご紹介の労をお取りいただければ幸甚に存じます。今後ともよろしくお願いたします。

地域連携研修会が開催されました

12.21 MON

「がん骨転移ってなんだろう？ ～診断と治療について～」



令和3年12月21日(月)、Webシステムを利用した3回目の研修会を開催することができました。当院の整形外科赤池慶祐医師より講演し、院内外を含めた39名の方が参加くださいました。研修会後のアンケートからは、「がん骨転移の基礎から治療の流れが理解でき、非常に良かった」というご意見をいただきました。

1.28 THU

「～COVID-19診療の最後の切り札～ 腹臥位療法とECMO」

令和3年1月28日(木)、地域連携研修会をWebで開催しました。当院の高度救命救急センター医長池田医師より「腹臥位療法とECMO」について講演をし、院外18名、院内31名の方に参加していただくことができました。チャット機能で質問もあり、講演中に回答させていただくことができました。



2.12 FRI

「すぐに役立つ！ 目からウロコの糖尿病治療」

令和3年2月12日(金)、Webシステムを利用し研修会を開催しました。当院の糖尿病内分泌科滝澤壮一医師より講演し、院外58名、院内19名の様々な職種の方が参加くださいました。今回は市役所の保健師や栄養士、訪問看護師など地域で活動されている方に多く参加していただき、わかりやすい内容で今後の活動にとても役立つ内容だったと感想をいただきました。



Web研修会

地域連携研修会のご案内

2021年3月開催

日時: **3月4日(木)**
18:30~19:30

Zoomでの開催

山梨県立中央病院
在職31年

山梨県立中央病院 院長
耳鼻咽喉科 平賀 幸弘 医師

研修会の情報は
ホームページでもご案内しています。
併せてご覧下さい。

<http://www.ych.pref.yamanashi.jp/>

▶ ホーム / 医療関係者の方へ / 講演会・研修会 /
講演会・研修会 / 地域連携研修会

発熱患者さんへの当院での対応について

11月よりかかりつけ医や最寄りの医療機関からの紹介状をいただければ、COVID-19(場合によってはインフルエンザ等も含めて)検査をし、結果をお返りする体制をとっております。

検査の
流れ

かかりつけ医・最寄り医療機関

「診療申込書」へ記入

発熱外来

FAX 055-253-7166

当院看護師より
受診案内を
患者さんに直接連絡

当院にて
検査

持ち物

・保険証
・紹介状

検査結果の報告

紹介医 FAXと郵送

患者さん 当院より電話

詳細につきましては、当院ホームページの「医療関係者の方へ」の「発熱患者さんへの当院での対応」をご確認いただきますようお願いいたします。

<https://www.ych.pref.yamanashi.jp/medical/8192/> ▶

